

## 離転職者等職業訓練 募集案内

県立和歌山産業技術専門学院では、下記のとおり訓練生を募集しています。  
訓練希望の方は、ハローワーク窓口までお申し出ください。他の職業訓練との併願はできません。

### 記

◇ 訓練コース番号 5-08-30-133-05-0062

◇ 訓練科目「介護初級科」

○ 訓練場所 社会福祉法人 安原福祉会 あいの里法人本部  
和歌山市相坂655番地の1

TEL 073-479-2500

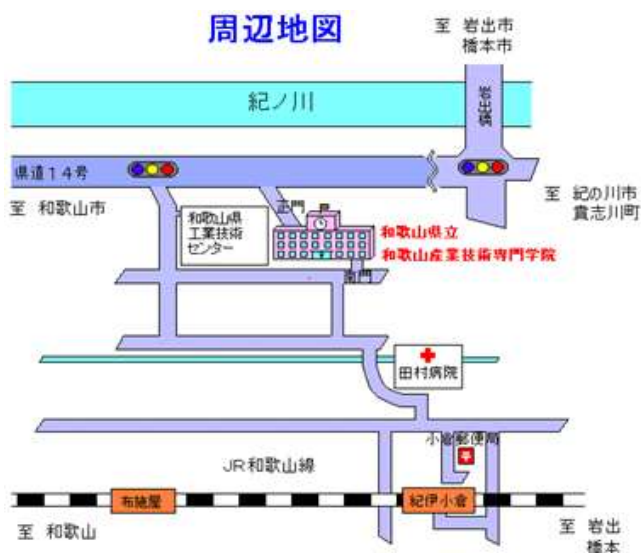
- 1 訓練期間 令和8年5月29日（金）～ 令和8年8月28日（金）（3か月間）
- 2 募集定員 8名（最低実施人数 3名）
- 3 対象者 介護職員として介護関連職種に就職を目指す方を対象に、公共職業安定所長から受講あっせんを受けることができる方。
- 4 訓練経費 **【受講料】** 無料。  
**【自己負担】** 教科書代 10,054円（税込）  
同行援護従業者養成研修一般課程に若干の経費  
職業訓練生総合保険料3,100円+払込手数料  
訓練期間中の事故に備えた損害賠償責任保険への加入が必要です。
- 5 募集期間 令和8年4月1日（水）～ 令和8年4月21日（火）各ハローワークで受け付けます。
- 6 選考
  - ・日時：令和8年5月1日（金）14:00開始
  - ・受付時間：13:30～13:50（試験開始後の受験は認めません。）
  - ・会場：和歌山県立和歌山産業技術専門学院（別紙選考会場略図参照）  
和歌山市小倉90番地
  - ・選考方法：面接（対面式）  
※選考試験には合格ラインがあり（面接：配点50点、合格ライン25点以上）、募集定員に満たない場合でも不合格になる場合があります。詳しくは学院ホームページをご覧ください。  
※選考試験実施の案内状は送付いたしません。  
受講申込をされた方は上記の時間・場所にお越しください。  
※選考日当日は筆記用具（鉛筆、消しゴム、黒ボールペン）を持参してください。  
※選考試験には他人に不快感を与えない軽装でお越しください。  
※選考結果は文書で通知します。
- 7 訓練内容等 介護に携わる者が、基本的な介護業務を行うことができるよう最低限の知識・技術とそれを実践する際の考え方のプロセスを習得する。  
ケア現場で役立つ高齢者介護（認知症介護）に関する基礎知識・技術とそれを実践する考え方を身につけ、チームアプローチに参画する一員として基本的なサービス提供ができるよう学習するとともに、高齢者介護に関わらず、障害者福祉に係る制度及びサービスを含めた福祉全般について学習する。
- 8 取得目標資格
  - ・介護員養成研修介護職員初任者研修課程
  - ・同行援護従業者養成研修一般課程
  - ・認知症サポーター研修



- 9 訓練時間等 原則 月曜日～金曜日（土・日・祝は休み） 9:00～16:40  
1日あたり6時間 ただし、実習期間中は、実習先に応じた訓練時間となります。
- 10 訓練委託先 社会福祉法人 安原福社会  
和歌山市松原306番地の5
- 11 その他 選考会場と訓練実施場所が異なりますので、ご注意ください。  
詳しくは、県立和歌山産業技術専門学院までお問い合わせください。
- ※一定の要件を満たす方は「求職者支援制度」により「職業訓練受講給付金」の支給等を受けることができます。詳しくは、ハローワークにお問い合わせください。
- ※令和8年度和歌山県予算が成立しなかった場合、又は厚生労働省との協議が整わなかった場合、本事業は実施しません。

和歌山県立和歌山産業技術専門学院 総務課  
和歌山市小倉90番地 TEL 073-477-1253

○ 選考試験会場



和歌山県立和歌山産業技術専門学院  
和歌山市小倉90番地  
TEL : 073-477-1253

アクセス方法

鉄道利用 JR和歌山線紀伊小倉駅 徒歩10分

お車で来られる方は運動場へ駐車してください。

○ 訓練実施施設



社会福祉法人安原福社会  
和歌山市相坂655番地の1  
TEL : 073-479-2500

アクセス方法

鉄道利用 和歌山電鉄貴志川線  
岡崎駅前徒歩15分

お車で来られる方は看板裏の駐車場へ駐車してください。

## 委託訓練カリキュラム

訓練科名		介護初級科		就職先の職務	介護関連の職種	
訓練期間		令和8年5月29日 ～ 令和8年8月28日				
訓練目標		<p>介護に携わる者が、基本的な介護業務を行うことができるよう最低限の知識・技術とそれを実践する際の考え方のプロセスを習得する。</p> <p>ケア現場で役立つ高齢者介護（認知症介護）に関する基礎知識・技術とそれを実践する考え方を身につけ、チームアプローチに参画する一員として基本的なサービス提供ができるよう学習するとともに、高齢者介護に関わらず、障害者福祉に係る制度及びサービスを含めた福祉全般について学習する。</p>				
取得目標資格		<p>介護員養成研修介護職員初任者研修課程（訓練終了時に左記課程も修了）</p> <p>同行援護従業者養成研修一般課程</p> <p>・認定修了証を取得できる教科①認知症サポーター研修</p>				
受講対象者		介護職員として介護関連職種に就職を目指す求職者				
		科目	科目の内容		時間	
訓練内容	学科及び実技	介護職員初任者研修課程	職務の理解（6h）、介護における尊厳保持・自立支援（9h）、介護の基本（6h）、介護・福祉サービスの理解と医療との連携（9h）、介護におけるコミュニケーション技術（6h）、老化の理解（6h）、認知症の理解（6h）、障害の理解（3h）、こころとからだのしくみと生活支援技術（75h）、振り返り（4h） ※こころとからだのしくみと生活支援技術については、一部実技演習を含む。		130	
		認知症サポーター研修	認知症高齢者の基礎的な関わり方・接し方を学び地域に周知できる人の養成をする。		2	
		あいサポーター研修	様々な障害の特性を理解し、障害がある人が困っているときに必要な配慮ができて、あいサポート運動を地域に周知している人を養成する。		2	
		障害者の特性の理解	知的障害、発達障害、精神障害、高次脳機能障害、内部障害等の障害の特性を学習する。		10	
		中間考査（理解度テスト）	授業で学んだことについての振り返りをすると共に、個々の理解度を確認する。		3	
		人権擁護と身体拘束について	1. 高齢者の虐待防止 2. 身体拘束に対する取り組みの適正化		2	
		安全衛生	安全衛生について		2	
		介護現場におけるデジタル活用	DXを利用した介護記録・介護ロボットの説明、活用、体験		4	
		感染症対策	コロナ、インフルエンザ等の感染症対策として「手洗い」等基本的な防止策を学習する		1	
		救命講習	AEDの取扱いなど応急手当の知識・技術を習得する		3	
		社会人基礎講習	自己理解、職業意識、現場見学など仕事理解、接遇マナー、苦情対応		24	
		就職支援	就職活動の進め方（キャリアデザイン、履歴書・職務経歴書の書き方、面接対応等）、修了評価		20	
				小計		203
		内容	実技（演習）	介護技術の応用と振り返り	生活支援技術にて実技を学んでいるが、利用者個々にあった介護技術と振り返り	
実技テスト	快適な住環境整備・整容・移動、移乗・食事・入浴、清潔保持・排泄・睡眠			2		
パソコン基本操作と活用	パソコンの基礎的な取り扱い方 エクセル・ワード・パワーポイントの使い方			30		
同行援護従業者養成研修一般課程	1. 障害者福祉に係る制度及びサービスに関する講義 2. 視覚障害者の疾病、障害者等に関する講義 3. 基礎的な移動支援に関する講義 4. 障害者の心理に関する講義 5. 演習			28		
				小計		61
内容	実技（職場見学等）	職場見学等（介護老人福祉施設、居宅介護事業所、グループホーム、障害者支援施設などのうちから2か所以上かつ6時間以上）	就労支援事業所（6h×2日） グループホーム（6h×1日）	18		
			デイサービス（6h×2日） グループホーム（6h×3日） 小規模多機能型居宅介護事業所（6h×2日）	42		
				小計	60	
		合計		324		
就職支援の具体的内容		キャリアコンサルタントの実施、当法人からの就職情報提供、ハローワークと連絡を密にし最新の情報提供を受ける、県社協から講和による福祉・介護の就職状況等の情報提供、訓練終了者から訓練受講時の体験談、履歴書の書き方、訓練終了後の就職支援等				
使用する機械器具・教材等		車椅子…3台、ベッド…2台、ポータブルトイレ…1台 寝具、オムツ、寝間着、杖 マウスコンピューター製R4年式パソコン（Windows11、Microsoft Office365）				
備考		・上記訓練時間とは別に開講・修了に係る行事を行う。				